

# 公共事業事後評価

## 広域水産物供給基盤整備事業 妻良漁港



# 1. 事業概要

# 広域漁港整備事業

事業期間:平成14年度～平成20年度

事業費:1,299百万円

事業概要:防波堤 130m、-3.0m岸壁80m

妻良浮棧橋60m、子浦浮棧橋60mほか

- 凡例
- 外郭施設
  - 係留施設
  - その他施設
  - 他事業



## 2. 評価の視点

## 妻良地区(防波堤)

整備前

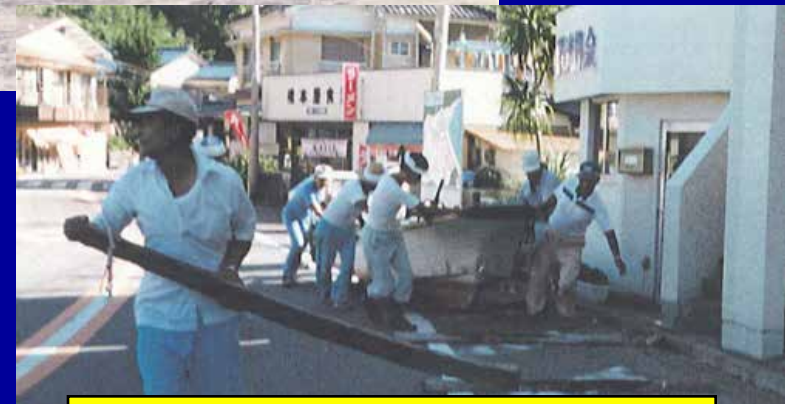


波浪が直接進入

整備後



整備前(波浪が集落まで迫る)



整備前(激浪時は船を陸揚げ)

波浪からの防護完了

便益 : 漁業のコスト削減

激浪時、漁船陸揚げまたは他港避難  
陸揚げ・避難なし

## 2. 評価の視点

## 妻良地区(浮棧橋)

整備前



整備前



潮汐により高低差最大1.2m、出漁作業の負担も大

整備後



整備後



浮棧橋採用で出漁が容易に

便益 : 作業の負荷・危険度(水産庁基準)

Bランク(負荷:大)

Cランク(負荷:普通)

## 2. 評価の視点

### 妻良地区 (耐震強化岸壁)

整備前



本事業で埋立て後、他事業(県施工)で緑地整備  
地域の憩いの場創出・産業(観光業)の活性化

整備後



-3.0m岸壁(耐震強化岸壁)を整備

大規模災害時の緊急物資受け入れが可能に

便益 : 救援物資の輸送コスト低減

ヘリコプター 船舶

釣り公園として開放可能に  
(地元区と協定締結)

他事業(町施工)で集落排水施設整備  
生活環境の改善

## 2. 評価の視点

## 妻良地区(地域のにぎわい創出)

地域の取り組み(海上アスレチックの設置)



釣り公園として開放可能に  
(地元区と協定締結)

## 2. 評価の視点

## 子浦地区(浮棧橋)

整備前



整備後



整備後



浮棧橋採用で出漁も容易に

沖に停泊する漁船なし

便益 : 出漁準備時間の削減

0.75 時間/日

0.33 時間/日

### 3. 事業効果

総費用 (C) = 18.3 億円 (現在価値換算)

・全体事業費 18.1 億円

・維持管理費 0.1 億円 (50 万円/年)

総便益 (B) = 23.7 億円 (現在価値換算)

水産物生産コスト削減効果 10.9 億円 (係留施設整備による作業時間短縮  
・出漁日数の増加)

漁業就業環境の向上 9.7 億円 (係留施設整備による労働環境[作業の負荷、  
危険度]改善)

地域産業の活性化 0.4 億円 (漁業外産業(観光)への効果)

非常時・緊急時の対処 2.6 億円 (耐震岸壁整備による救援物資輸送コスト  
増大の回避)

総費用 (C) に対する総便益 (B)  $B / C = 1.30$



## 4. 対応方針(案)

### (1) 評価結果

- ・事業の効果は十分に発現しており、改善措置の必要はない。

### (2) 今後の課題等

- ・「静岡県第4次地震被害想定」の公表に伴い、新たに想定された地震・津波等の外力による照査を行い、必要により改良内容を検討する。

### (3) 同種事業への反映等

- ・同事業により観光客の増加、地域の活性化につながっていることから、高齢化・過疎化が進む他の市町営漁港等に反映させていく。